

第6学年 体育科(保健)学習指導案

授業者 教諭 巢 守 俊 彦

1 単元名 病気の予防

2 単元の目標

- (1) 病気の予防について関心を持ち、自ら健康的な生活を実践するため、進んで学習に取り組むことができる。
(健康・安全への関心・意欲・態度)
- (2) 病気の予防について、課題の解決をめざして考え、判断することができる。
(健康・安全についての思考・判断)
- (3) 病気は、病原体、環境、生活のしかた、体の抵抗力などと深く関係しており、これらのいくつか重なって起こることがわかる。
(健康・安全についての知識・理解)

3 単元について

本単元「病気の予防」は、「けがの防止」とともに、健康の破綻現象のひとつである「病気」の発生要因と病気の予防の原理・原則を理解させ、健康の維持に生かす習慣や態度を養うものである。病気は、病原体、環境、生活のしかた、体の抵抗力などがかかわり合って発生する。今回は、病原体がもとになって発生する病気として、「インフルエンザ」と「エイズ」、生活のしかたに起因する病気として、「虫歯」を取り上げ学習を展開していく。また、酒、たばこ、薬物の害については、多くの児童にとっては身近には感じられないが、近年、飲酒や喫煙の低年齢化の傾向があり、小学校段階から正しい認識と意志を育てていく必要があると考え、取り上げる。

エイズは、20世紀に世界中で急激に流行し、現代における重要な健康問題となった。学校においても、その指導の重要性が認識され、各種の実践が行われた。しかし、21世紀になり、様々な現代的課題の出現によって、エイズ問題が取り上げられることが減少してきたように思われる。だが、世界中でのHIV感染者・エイズ患者推計数は3,400万人～4,600万人(2003年末現在)にのぼると推計され、その増加傾向はとどまるところを知らない。日本国内でも、HIV感染者・エイズ患者は増加し続けており、昨年度は、1,165件と初めて1,000件を上回り、過去最高となってしまった。

エイズについての医学的に明確な治療方法、発病予防方法が見いだされていない現在、感染の拡大を止める方法は、「教育と広報」しかないといわれている。正しい知識を持ち、適切な注意を払い、的確な行動をとれば感染を回避できる病気であり、学校においてエイズに関する指導を行い、正しい認識を持たせることが大切である。また、エイズに関する情報は、性情報と共にマスコミを通じて社会に氾濫しており、十分に理解吸収できず誤った知識や偏見を持ってしまう恐れもあるので、正しい知識の理解の上で、患者や感染者との共生を指導することも大切である。そこで、保健学習では主に正しい知識の理解を目的とし、道徳・学級活動および社会科の人権学習などでは主に偏見や差別に対する指導が中心となるが、両者を関連づけた指導が必要である。

4 児童と指導について

(1) ゆさぶりを生かした学習課題の設定

事前調査の結果、エイズは自分とは関係のない病気だと考えている児童もいるので、日本の患者数の急激な増加という事実から、自分の身近に感染者が現れたり、自分自身が感染したりするかもしれないという実感を持たせたい。また、エイズの乳児をゴム手袋で抱く看護師の写真から、「なぜだろう。」と考えさせ、自分の認識との違いでゆさぶり、課題に対する意欲づけを図りたい。

(2) 主体的な学習を展開するための手だて

保健学習は、教師からの知識注入になりやすい。しかし、それでは児童の健康に対しての意志決定能力は育たない。そこで、グループでの意見交換による学び合い学習を取り入れたり、自分の考えをワークシートに記入する時間をとったりして、主体的な学習に取り組みせたい。

(3) 科学的な認識を高める資料や教材の工夫

エイズについて、情報が優先し、正しい知識を持つ児童がほとんどいない。そこで、問題解決に役立つVTR等の視聴覚教材の利用や簡易な実験を取り入れることにより、児童の科学的な認識を高めたい。また、感染経路の学習では、場面絵を利用し、視覚的にわかりやすくして、思考の手助けとしたい。

5 指導計画 (8時間配当)

| | | | |
|-----|-------------|-------|-------------|
| 第1次 | 病気とその起こりかた | | 1時間 |
| 第2次 | 病原体と病気 | | 2時間 (本時2/2) |
| 第3次 | 生活のしかたと病気 | | 2時間 |
| 第4次 | 飲酒、たばこ、薬物の害 | | 3時間 |

6 評価規準と評価方法

| 次 | 時 | 評価の観点 | 健康・安全への関心・意欲・態度 | 健康・安全についての思考・判断 | 健康・安全についての知識・理解 |
|-----|---|--------------------|--|--|--|
| | | めあて | 病気の予防について関心を持ち、自ら健康的な生活を実践するため、進んで学習に取り組むことができる。 | 病気の予防について、課題の解決をめざして考え、判断することができる。 | 健康の保持増進に必要な生活行動および病気の起こり方とその予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けることができる。 |
| 第1次 | 1 | 病気とその起こりかた | 病気の原因や起こり方について関心を持ち、学習に前向きに取り組む。(発言) | 病気の起こり方について、自分の経験や身近な人々の生活をふり返り、課題を見つけることができる。(ワークシート) | 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわり合って起きることがわかる。(発言、ワークシート) |
| | 2 | 病原体と病気 インフルエンザ | インフルエンザについて、身近な問題として意識し、興味・関心を持つ。(発言) | インフルエンザの予防方法を考えることができる。(発言、ワークシート) | インフルエンザの起こり方やその予防のしかたがわかる。(発言、ワークシート) |
| 第2次 | 3 | 病原体と病気 エイズ | エイズについて正しい知識を得ようと、積極的に話し合いや実験に参加する。(発言、行動観察) | HIV感染者と共に生きていける社会をつくるために何が必要かを考えることができる。(発言) | エイズの起こり方や普段の生活では感染しないことがわかる。(発言、ワークシート) |
| | 4 | 生活のしかたと病気 生活習慣病 | 自分の生活をふり返り、主体的に生活習慣の改善に取り組む。(発言、行動観察) | 自分の生活をふり返り、健康によい生活ができているかふり返ることができる。(ワークシート) | 生活習慣が主要因となって起こる病気やその予防のしかたについてわかる。(発言、ワークシート) |
| 第3次 | 5 | 生活のしかたと病気 虫歯 | 自分の生活をふり返り、主体的に生活習慣の改善に取り組む。(発言、行動観察) | 虫歯になりにくい生活のしかたを考えることができる。(ワークシート) | 虫歯のなり方がわかる。(発言、ワークシート) |
| | 6 | 飲酒の害 | 飲酒の影響について関心を持ち、学習に前向きに取り組む。(発言、行動観察) | 飲酒を勧められた場合の効果的な断り方を考えることができる。(発言、ロールプレイ) | 飲酒が心身の健康に及ぼす影響や発育期の飲酒の危険性がわかる。(発言、ワークシート) |
| 第4次 | 7 | たばこの害 | 喫煙の影響について関心を持ち、学習に前向きに取り組む。(発言、行動観察) | 喫煙を勧められた場合の効果的な断り方を考えることができる。(発言、ロールプレイ) | 喫煙が心身の健康に及ぼす影響や発育期の喫煙の危険性がわかる。(発言、ワークシート) |
| | 8 | 薬物の害 | 薬物の影響について関心を持ち、学習に前向きに取り組む。(発言) | 薬物乱用のきっかけに対する対処の仕方を考えることができる。(発言、ロールプレイ) | 薬物が心身に及ぼす害と社会に与える悪影響がわかる。(発言、ワークシート) |

7 本時の目標

- (1) エイズは病原体がもとになって起こる病気であり、病原体を体に入れないことが必要であることがわかる。
- (2) エイズに関心を持ち、エイズに関する偏見や不安を取り除くことができる。

8 準備物
写真 2 枚 感染経路の場面絵 ワークシート 油紙 半紙 割りばし 朱墨

9 本時の学習過程

| 学習活動と予想される子どもの姿 | 教師のかかわり |
|---|---|
| <p>グラフ（日本のエイズ患者，感染者の変化）を見て気づいたことや病名を考える。</p> <p>毎年増えている。 うつる病気かもしれない。</p> <p>写真 1 を見て，看護師がエイズの乳児を抱くの にゴム手袋をしているわけを予想する。</p> <p>赤ちゃんからエイズがうつらないようにしてるんだ。</p> <p>本時の課題をつかむ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 資料・・・グラフ 急増していることから，感染症であることに気づかせたい。 資料・・・写真 1（看護師と赤ちゃん） ゆさぶりから 課題意識を確実に持たせ，本時の学習を進めていきたい。 |
| <p>本当に，エイズはふれることもできない怖い病気なのだろうか。</p> | |
| <p>エイズとはどんな病気なのか予想する。</p> <p>血液でうつるらしいよ。 まだ，治療方法が見つかっていないらしい。</p> <p>VTR から，エイズとはどんな病気なのか調べる。</p> <p>感染（HIV が体内へ入る） 潜伏（HIV と白血球との戦い） 発症（免疫力の低下）</p> | <ul style="list-style-type: none"> 資料・・・VTR（免疫とエイズ） 前時のインフルエンザ同様，ウイルスの存在に気づかせる。 |
| <p>身近な場面の絵を見て，感染の有無をグループで話し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 資料・・・場面絵 理由を相談させ，うつる場合とうつらない場合に分けさせる。 |
| <p>人間の皮膚の模型を使って，感染のしかたを実験で確かめる。</p> <p>脱脂綿を油紙に包んだものを朱墨につける。 皮膚 しみこまない うつらない</p> <p>脱脂綿を半紙に包んだものを朱墨につける。 粘膜 しみこむ うつる</p> <p>油紙に包んだものに傷をつけて朱墨をつける。 しみこむ うつる</p> | <ul style="list-style-type: none"> 実験の目的や手順をよくつかませ，結果を予想して行わせる。 実験の結果は学習カードに記録させる。 <p>（評）積極的に話し合いや実験に参加することができたか。（発言，行動観察）</p> |
| <p>写真 2 を見て，看護師の真意を知るとともに，ライアン・ホワイト君の記事をもとに，自分たちの持つ偏見と差別について話し合う。</p> <p>本人のせいじゃないのにかわいそう。 知らないで差別するなんてひどい。</p> <p>今日の学習のふり返りを書き，発表する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 資料・・・写真 2，ライアン君の新聞記事 ライアン君の受けた差別が，偏見に基づくものであることに着目させる。 <p>（評）HIV 感染者と共に生きていける社会をつくるために何が必要かを考えることができたか。（発言）</p> <p>（評）エイズの起こり方や正しい予防方法を理解することができたか。（発表，ワークシート）</p> |

10 授業の観点
児童の学び合い学習を支援するための，資料や教材および指導過程の工夫は適切であったか。